

令和2年11月27日

# 第11回（11月）

## 定例教育委員会会議録

荒尾市教育委員会

令和2年11月 定例教育委員会 議事録

1. 日 時 令和2年11月27日（金）9時00分

2. 場 所 11号会議室

3. 出席委員

教育長	浦部 眞
委員	境 民子
委員	西尾 直子
委員	旭田 國浩
委員	渡邊 義専

4. 出席事務局職員

教育次長兼教 育振興課長	橋本 張幸	学校教育課長 兼教育審議員	永杉 尚久
生涯学習課長	宮脇 浩司	指導主事	大塚 真史
指導主事	溜瀧 知昭	指導主事	成瀬 典子
課長補佐兼学 務係長	畑山 鉄也	教育政策係長	吉村 麗月
給食センター 所長	永吉 万寿美	給食センター 整備推進室長	岡村 哲明
社会教育係長	馬場 理恵子	スポーツ推進 係長	前田 恵子

- 教育長           ○開会宣言     令和2年11月27日（金）9時00分  
                  ○会議成立の確認（全員出席）  
                  ○議題、会議の日程等の承認  
                  ○会議録署名委員の指名（旭田委員）

1. 前回会議録の承認（境委員）
2. 議案

【議第45号 荒尾市スクールソーシャルワーカー設置要綱の一部改正について（教育振興課）】

○事務局説明

○質疑

委員	30年位前から学校で臨採が増えてきたため、なぜかと尋ねたら納得のいく回答を得られなかったと記憶している。スクールソーシャルワーカーは、学校現場には必要であるから、正職員でもいいのではないかと思う。
事務局	正職員であれば、応募が見込めるのではないかと思う。事務局としても、総務課が会計年度任用職員から任期付き職員に認めたので、一步前進したと思うところ。今後もスクールソーシャルワーカーの処遇改善については、主管課に訴えていきたい。今回、一つ前進したと捉えていただけたらと思う。

【報告第8号 財産の取得について（教育振興課）】

○事務局説明

○質問

委員	そんなに費用が掛かるものなのか。
事務局	取得する財産については、どの自治体も同様に掛かっていると思う。しかし、それ以外の分では、どこまでネット環境であるとか、自宅で使えるような環境を整えるかについては、各自治体でばらつきがでている。本市の仕様については、かなり充実した内容になっている。本県でいうと熊本市と同程度の環境になるよう整備を進めている。その他、活用として管理職を始め、各学校のICT教育のリーダー研修等も本委託料の中に入っている。今後、活用が十分にできるよう、目標値を掲げながら取り組んでいきたいと考えている。
委員	1人1台の端末を整備するGIGAスクール構想は、国から補助金がくるのではないか。
事務局	はい。国からの補助金がでる。また、今年度については、コロナ対策でかな

り広い範囲に使用することができる交付金がきている。財政課が所管となるが、その使い道の一つに充てることも可能である。

【報告第9号 指定管理者の指定期間の変更について（生涯学習課）】

○事務局説明

○質問

委員	変更理由は、新しい図書館の開館が令和4年4月からだからではないのか。
事務局	そういうわけではない。承知のとおり、今年始めから、新型コロナウイルスが全国的に感染拡大したことを受けて、会議の開催もままならないという状況であったことから、6月位に総務省の方から指定管理者の手続きに関する通知がきて、切り替える年を迎えている指定管理については、十分自治体の方で留意し進めていくようにというものであった。本市においても、例年7月位に公募するが、現状を勘案して企業に負担が掛からないよう、指定期間を延長するもの。

【その他 荒尾市立図書館のあらおシティモールへの移転整備について】

○事務局説明

○質問

委員	例えば、シティモールが、どんどん店舗が減っていったということはないのか。
事務局	本市としても、シティモールは第三セクターで運営しており、緑ヶ丘地区には文化センターや運動公園があり、本市の文教的な役割を果たす色合いが強い地区でもあるので、当然応援していかねばならないという立場で認識している。シティモールはここ数年、空き店舗が増えてきたことから、図書館の誘致をしたいということであった。令和4年は、図書館だけでなく、シティモール全体を大幅にリニューアルオープンという形で考えておられる。
委員	紀伊國屋さん自体は、収益が見込めないといって引くことはないのか。
事務局	指定管理者として東京や福岡などで実績やそれに伴うノウハウは既に持っている。本市が想定している図書館と書店の一体運営は今回が初となり、相手方も非常に興味を示され、連携協定締結式には会長自ら出席された。本事業を是非、成功させたいと積極的に意見をいただいているところ。また、企業としての様々な横のつながりを活かすとともに、新たな提案を学

	校教育との連携も考えながら、未来型図書館をつくりあげていきたい。
委員	今、入っている書店はどうなるのか。
事務局	それについては、申し上げる立場にない。
委員	何年か前に、武雄市の図書館が有名になったと思う。少し使いづらい感じはしたが、とてもお洒落で、駐車場には他県ナンバーが多く止まっていたと記憶する。家族で図書館に行こうかと思える図書館づくりに期待する。
事務局	市内だけでなく、市外からの来館も想定している。これまでにない未来型図書館で借りるだけでなく、滞在型の図書館をイメージの一つとしている。書架は低いものを想定し利用しやすくするため、広いスペースを確保した。また、ユニバーサルデザインにも対応していきたいと思っている。

【その他 12月行事予定について】

○事務局説明

○質問

委員	子ども学び塾の内容を教えてください。
事務局	当初、夏休みに計画していたもの。小学生の中高学年を対象とし、学習活動と体験活動を組み合わせた事業となっている。午前に学習活動、指導には熊本大学の協力を得て学生ボランティアが行う。午後の体験活動は、小代焼体験や水鳥湿地センター周辺の散策を予定している。現在、14名ほど応募がきている。

【その他 次回定例教育委員会の日程について】

○事務局提案

事務局	次回の第12回定例教育委員会は12月24日（木）10時00分から開催したいと思います。
各委員	異議なし。
教育長	それでは、次回の第12回定例教育委員会は12月24日（木）10時00分から開催します。

教育長

○閉会宣言 令和2年11月27日（金） 10時 02分